

2004 年度 委員会活動成果報告

(17年 3月30日作成)

委員会名	都市機能支援システム小委員会	主 査 名：後藤 剛史
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会(海洋研究推進運営委員会)	委員長名：登坂 宣好
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	海洋本委員会の新機軸である「アダプティブ海洋建築」を達成する上での一翼を担う位置づけにある。その中でも特に、平常時の都市機能を支援するためのシステムを検討するために設置する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：後藤 剛史(法政大学) 幹事：川上 善嗣(職業能力開発大学校) 委員：大塚 清敏(大林組) 加藤 賢治(豊田高専) 川西 利昌(日本大学) 桜井 慎一(日本大学) 志村 正幸(建設環境研究所) 野口 憲一(大成建設) 平田 京子(日本女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>日時：2004 年 11 月 29 日 18:00~20:00 場所：建築学会 出席者：後藤、川上、大塚、川西、桜井、志村、野口</p> <p>日時：2005 年 1 月 18 日 18:00~20:00 場所：建築学会 出席者：後藤、川上、大塚、川西、桜井、加藤</p> <p>日時：2005 年 2 月 24 日 18:00~20:00 場所：建築学会 出席者：後藤、川上、大塚、川西、桜井、加藤、志村、野口</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>今年度における第一目標は都市機能支援施設、特に非常時のために用意される施設について、平常時にいかに有効利用するかを探ることである。第二の目標は都市機能支援施設の設置場所の選定手法を提案することである。</p> <p>これらを実現するために、当委員会ではこれらの表題に含まれるキーワードの定義、確認からスタートし、それぞれの裏付け資料を作成するを行っている。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>本年度当初より、先ずは企画運営、コンセプト委員会活動先行の下に、その意向、方針に沿った活動に入るとの方針であった。したがって、従来に比較し当該小委員会としてのスタートが遅くなっている。しかし、少ない委員会開催にも拘わらず、各委員への宿題作業の方式を採用したため、比較的短期で活動の方向付けが可能であったと評価している。第一の目標が、新年度学会大会における研究協議会での報告となるので、その目標に対する達成度としては60%程度と判断している。</p>
その他評価すべき事項	